講義名	研究演習II		
講義コード	15047	授業形態	
担当教員	三谷　哲雄		
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 ５時限		
備考			

ゼミ

学部ゼミ・学科ゼミ

学部

経済学部

学科

経済学科

演習名

道路交通まちづくり

概要説明

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．

==========
【道路交通まちづくり】
　よりよい地域まちづくりを目指して，都市や街での暮らしにおける交通に関わる様々な「どうなっているの？」「何が問題？」「どうすればいいの？」を考え，それを科学的に解き明かすための情報技術を知り，それを活用した演習を行います．

====
概要説明

_____
１．概要
―――――――――

　当ゼミは，所属ゼミ生が「ネアカ，のびのび，へこたれず」なビジネスパーソンになるための，ささやかではありますが，そのお手伝いをします．特に何事にも「へこたれず」な精神，そして「のびのび」と実力を発揮するために必要なスキルと自信，これらの育成に力を入れています．

　専門ゼミとしてのテーマは，「道路交通まちづくり」です．よりよい地域まちづくりを目指して，都市や街での暮らしにおける交通に関わる様々な「どうなっているの？」「何が問題？」「どうすればいいの？」を考え，それを科学的に解き明かすための情報技術とその活用について学習します．具体的には，道路交通に関わる様々な知識とともに，地域を構成するさまざまな要素を「情報」として捉え，地域に関わる情報の処理（地域情報処理）技術やその各種分析手法を学習します．さらにGISと呼ばれる情報システムほか，様々な情報技術を援用して，実際の地域を対象にした情報収集，それに基づく現象把握，そしてデータ構築から分析，考察，まとめ，発表までの一連の研究プロセスを体験します．こうした体験を通して，交通に関わる専門知識や情報活用技術の向上とともに，地域を捉え，考え，課題解決するスキルの向上を図ります．

　さらに，専門ゼミテーマにとらわれず，課題や問題の発見能力や解決能力，ITスキル，自己管理など，ビジネスパーソンに求められる基礎「チカラ」を養い，伸ばすことも重視しています．

―――――――――――――――
２．目標に向けた具体的な方法
―――――――――――――――

　これらの目標に向かうために，当ゼミでは【４つの「場」】を用意しています．それは，「講義」「三谷研究室」「教育」「その他」です．これらの「場」での高密度な活動によって，上記の様々な「力」を育成します．また，それぞれの「場」では，２回生，３回生，４回生，全てのゼミ生が一体となって活動することを基本とします．なお，これらの「場」を生かすも殺すもゼミ生の積極性次第です．

――――――
(1) 講義

　研究演習I，研究演習II，卒業研究のことです．

0) 事前演習

　２年後期からの研究演習の本番を前に，配属決定から夏休み期間を利用して，PC活用の基本スキルの自習とともに，交通工学に関する基礎知識を学びます．PC活用の基本スキルの内容は，１年生向け科目の「情報処理入門」の内容を用います．交通工学に関する基礎知識は，「道路交通技術必携（交通工学研究会）」を利用します．

1) 研究演習I

　狙い　：　交通や地域情報処理の基礎を学修しながら，３つの「力」の下地，を涵養することが狙い．

　① 実データで演習　==>　実社会を捉える視点・基準・方法　～　分析力
　② 個別指導　==>　ディスカッション・メモ取り　～　打合せ力
　③ レポート作成　==>　ワード・エクセル活用　～　IT活用力

　方法　：　基本的に講義時間内に実施します．細かな作業については宿題として講義時間外に行います．また必要に応じて「(4)その他」での教員や先輩によるフォローアップを適宜受けられます．

学位

博士（工学）

教員よりの要望

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．

　要望というよりアドバイスです．

　就職活動においては，「学生時代の取り組み（やその姿勢，成果）」，が少なからず重要視されます．上記の「４つの場」の提供は，当ゼミの大きな特徴です．そしてそこでの高密度な活動は，「学生時代の取り組み」の話題として事欠きません．

　職場では，最初でこそ研修と称して「様々な学ぶ場」を提供してくれます．そこから社会人のルールやマナーをはじめ，様々なことを学びます．しかし，それが終わると，教科書もなければ，先生もいません．しかも，現場は分からない事だらけです．さらに，ビジネスの現場では，多様で変化の激しい社会に迅速に対応していかなければなりません．このため，社会人（ビジネスパーソン）には高い「学び力」が求められています．無の状態からでもあらゆる「学び力」を駆使して前進する（成果を出す）ことのできる力です．「学び力」といっても，受身(与えられること)中心の「学び力」ではありません．課題解決(仕事成果)に向けて，自ら積極的に学び取ろうという意識と行動を伴う「学び力」です．

　「学び力」には，「学ぶチカラ（やる気）」と「学び方（学ぶ方法）」が重要となります．「学ぶチカラ」は，精神的なチカラですので訓練することは難しいの

教員英字氏名

Tetsuo MITANI

研究室

研究棟II 2612研究室

最終学歴

徳島大学大学院 工学研究科 博士後期課程(生産開発工学専攻) 修了［1996年03月］

主な研究活動・社会活動・研究業績

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．
―――――――――――
(1) 研究活動の概要

　三谷研究室では，地域社会におけるより良い暮らしの実現のため，地域内の道路や交通に関わる様々な情報に基づき，交通安全や地区交通の視点から道路や交通空間のあり方の調査・研究を行っています．さらに，地理情報システム(GIS)をはじめとした各種情報システムや情報技術を活用した，道路・交通空間解析や交通安全などの支援システムの開発やその応用の研究も行っています．

―――――――――――
(2) 社会活動／研究業績

　詳細は，研究室HPの教員紹介（http://gis.umds.ac.jp/seminar/prof.html）か大学HPの教員紹介（https://www.umds.ac.jp/academics/profile/index_ma/mitani）をご覧下さい．

主な卒業論文のタイトル

　必要ならば個別ガイダンスの時に聞いてください．

趣味・特技

所属

経済学部・経済学科・地域まちづくりコース

所属学会

土木学会，交通工学研究会，日本道路協会，ほか

専門分野

土木工学分野の交通計画(交通安全/地区交通)・地域情報処理(地理情報システム(GIS)，GPS等の情報システムを活用した地域分析)

選考方法

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．

【ゼミ選びのポイント】

　本科目は，選択科目，です．本科目の履修が，卒業のための必須条件ではありません．他の科目でも置き換えられます．自分の将来の夢や目標を見据えて，２年生以降の「学びのバランス」をしっかりと考えてゼミを選ぶことをお勧めします．その方法は，たくさんあると思いますが，次の方法はその一つです．参考にしてください．

担当科目

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．

備考

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．

評価方法

※PDFの場合，全ての内容が表示されない場合があります．必ずRyukaPortalのシラバスWebページで確認してください．

――――――――
(1) 研究演習Ⅰ
　平常点（出席を含む普段のゼミへの取組態度や努力の度合いなど）　：　約30%
　到達度（毎回の分析力・打合せ力・IT活用力の向上）　：　約40%
　最終課題（プレゼン含む）　：　約30%

実務経験の有無及び活用